

第7回V・ファーレン長崎支援会諫早支部会議事録要約

V・ファーレン長崎支援会運営部会長：平鍋公二

1.日 時 : 2013年2月5日(火) 19:30~21:30

2.会 場 : 諫早市社会福祉会館 2F 多目的ホール

3.参加者 : クラブ: 菊次専務 竹村氏 諫早サッカー協会: 応戸氏
支援会: 大山長崎市支部長 藤原運営委員長 一般参加者: 8名(総計13名)

4.議 題 :

- (1) V・ファーレン長崎からの報告
- (2) 支援会からの報告について
- (3) ホーム開幕戦に向けた活動について
- (4) その他の協議事項について

5.概 要

(1) **V・ファーレン長崎からの報告** :

- ・クラブのチーム体制、方針、フロント人事について説明がなされた。
- ・クラブのベーシックプランが発表され、2012年専用練習場確保、2018年クラブハウス完成・J1参入などの方針が説明され、今季の予算目標が6億円との説明がなされた。

(2) **支援会からの報告** :

- ・12/19 サポーターズカンファレンス開催報告がなされた。
- ・クラブに支援会との関係性を確認するよう提案中である事が説明された。
- ・退任する平鍋現会長に代わり大山長崎市支部長を推薦する方針が説明された。
- ・2012 ホーム観戦者大規模アンケートの集計・分析が終了しクラブに提出予定である事の説明がなされた。

(3) **ホーム開幕戦へ向けた活動について**

- ・クラブがチケットに関する広告を新聞掲載する事、諫早のSony工場に1500台の駐車場を確保した事、スタジアムグルメ、導線などが説明された。
- ・諫早の商店街関係者より諫早市がノボリ200本、タペストリー100本を作成した事、商店街としてスタジアムまでの地図が作成中である事、無料休息所設置などを検討している事が示された。
- ・支援会が市民とクラブの仲介役となっていくのが良いのではないかとの意見が述べられた。

(4) **その他の協議事項について**

- ・クラブが積極的に支援会のPRを行うよう意見が述べられた。

6.次回日程 :

第8回V・ファーレン長崎支援会諫早支部会 4/9(火) 19:30~ 諫早市社会福祉会館第

以上

第7回V・ファーレン長崎支援会諫早支部会議事経過及び所見

V・ファーレン長崎支援会運営部会長：平鍋公二

1. 議事経過及び所見：

(1) V・ファーレン長崎よりの報告：

議事経過： 菊次専務より年末のサポーターズカンファレンスからの一連の支援会の活動に対して謝意が述べられた。続いて、高木監督、服部強化部長らチームスタッフが報告がなされ、今季は「ポゼッションをしつつ走るサッカー」を念頭に戦っていきたいとの抱負が述べられた。フロントについても組織改革が行われ「総務」「強化育成」、「運営事業」の3つに組織再編を行い、運営事業部には、事業、運営、広報、ホームタウン担当を設置する事が報告された。

今後はホテルや旅行代理店などと連携しての観戦ツアー開催や誘致を行うほか、アウェイでの県産品販売などを担当する県の職員が派遣される予定である事が報告された。また、Jリーグの独占放送権を持つスカパーの放送内で与えられるミニコーナーを生かして地域PRを行う事も説明された。

加えて、クラブの今後の方針であるベーシックプラン、2013シーズンの予算計画などが説明された。プラン中でJ1昇格が5年と設定されており、サポーターズカンファレンスで発表された3年でJ1の発言との食い違いがある事が指摘され、「訂正があった」との回答が行われた。また、今季の予算は目標6億円とする事などが報告された。最後に今後の支援会については竹村・後藤の両氏が専任の担当となる事が発表された。

(2) 支援会の活動報告：

議事経過： 藤原運営委員長より「12/19サポーターズカンファレンス」を開催した事が報告され、参加者が50名以上であった事、議事録などを支援会が作成し、対処した事でクラブとして初めて議事録の公開が行われた事が報告された。また、第29回の支援会長崎部会でクラブの支援会に対する姿勢へ批判が相次ぎ、今後の会の存続をクラブに委ねた事が説明された。

また、支援会の現会長である平鍋公二氏が会長を退く事から支援会が今後も存続する場合、長崎市支部長である大山氏を会長候補として推す事が説明され、諫早支部会への了承がなされた。次に2012年の観戦者大規模アンケートの集計・分析が終了した事が説明され、近日、クラブに提出予定である事が報告された。最後に支援会予算の用途について「告知チラシ作成」を検討している事が述べられた。

(3) ホーム開幕戦に向けた活動について：

議事経過： 菊次専務より現在クラブに最も多い問い合わせが「チケットの購入場所」「チケット購入法」であると説明がなされ、開幕までにチケットに関する広告を2回ほど掲載する予定であるとの報告がなされた。ホーム開幕戦では2万人の集客を見込んでいる事が説明されると、藤原運営委員長より駐車場に対する懸念が述べられた。竹村氏よりバスで10分程度の場所に1500台規模の駐車場などを確保した事が報告され、スタジアムまでの導線についても安全面に配慮していきたいとの回答が述べられた。また、一般参加者よりスタジアムグルメに関する質問がなされ、竹村氏より今年はリンガーハットがちゃんぽん出店も検討しているとの回答が述べられた。

続けて諫早商店街関係者より諫早市がタペストリー100枚、ノボリ200本を準備中であり、タペストリー40枚は駅前の商店街に、ノボリはシャトルバスの発着場や競技場へのルートへ設置したい旨が説明された。また、地元フリーペーパー「ナイスいさはや」で月に1回100名限定試合招待キャンペーンを行う事、商店街から競技場までの地図作成を行っている事、商店街に無料休息所設置を行いたい事などの説明がなされた。

(4) その他の協議事項：

議事経過： 一般参加者よりグッズの拡充について質問があり、菊次専務よりクラブにとっての目玉となるヒット商品を1つは作りたいとの回答が述べられた。また、藤原運営委員長より今度はJリーグエンタープライズやJリーグフォトといったJリーグ関連企業によりクラブの商標や肖像使用が制限される事の説明があり、グッズ製作などはクラブとの協議が必要との説明が追加でなされた。

続けて一般参加者や諫早市商店街関係者よりクラブと連動して活動や協力を行う為の会議の場として支援会を活用していきたいとの希望が述べられ、その為にも参加者増やPRが必要であり、クラブが支援会の開催日程やスケジュール、活動内容を積極的に公式発表するなどの協力が必要だと意見が出された。併せて情報発信について改善を求める声が相次いだ。菊次専務より支援会の日程や活動についてクラブでリリースを行ってほしいとの回答がなされた。

(5) 次回の支援会諫早部会の日程について：

議事経過： 藤原運営委員長より「第8回V・ファーレン長崎支援会諫早部会」の開催日を4月9日（火）の19：30に諫早社会福祉会館で開催するよう提案がなされ了承された。

(以上)

V・ファーレン長崎支援会運営部会長：平鍋公二
vvnnsienkai@yahoo.co.jp